

各 位

2006年4月13日

株式会社日本触媒

### 新長期経営計画「テクノアメニティ V3」及び中期経営計画について

当社はこの度、今後5年間（2006年度から2010年度）の長期経営ビジョンである長期経営計画「テクノアメニティ V3」と当初3年間（2006年度から2008年度）の実行計画である中期経営計画を策定しました。

テクノアメニティ V3（2006年度～2010年度）

～こだわり・変革・飛躍～

連結業績目標：売上高 3500 億円 経常利益 350 億円 ROA7.5 %以上

（中期計画 2008 年度目標：売上高 3000 億円 経常利益 300 億円 ROA7.5%以上）

#### < 策定の主旨 >

量的成長から質的成長への変革を掲げた前長期経営計画「テクノアメニティ NV」の後半中期経営計画を2004年度から実行してきた結果、計画最終年を待たず各連結目標数値（売上高 2000 億円、経常利益 180 億円、連結 ROA7%以上）を売上で約 15%、利益で約 40%上回り、大幅に達成する見通しです。これは、バルキー製品市況の上昇と既存製品分野で実施した諸施策（AA・SAPのグローバル展開[欧州、米国、中国]、住友化学とのMMA・AAの事業交換、三井武田ケミカルとの不飽和ポリエステル樹脂事業合弁会社設立、等）の効果が主要因と考えています。

また、課題としておりました新規製品の創出、拡大の加速につきましては、2005年度目標新規製品売上高をほぼ達成する見通しであり、一定の成果はあがってきたものと考えています。

このような状況において、当社は来る**2010年**に**かくありたいという姿**を見据えながら、新たな経営目標として長期経営計画「テクノアメニティ V3」とその実行計画である中期経営計画を策定いたしました。

#### < 長期経営計画「テクノアメニティ V3」の要旨 >

##### 企業理念及び経営理念

企業理念：テクノアメニティ～私たちはテクノロジーをもって、**人と社会**に豊かさと快適さを提供します

経営理念：人間性の尊重を基本とします

**社会との共生、環境との調和を目指します**

時代に先行する技術に挑戦します

国際的な視野にたって活動します

当社としての社会的責任に対する経営方針をより明確にするため、当社の企業理念および経営理念の一部を上記のとおりに改めました。

#### 将来像及びスローガン

当社は各ステークホルダーから次代の成長を期待され続ける会社でありたいと考え、今後も「**個性的な技術で新たな価値を創造する国際企業**」という**将来像は堅持**します。

また、前長期計画期間において当社は「量的成長から質的成長への変革」というスローガンのもと、経営資源の選択と集中を進め、利益の絶対額だけでなく効率を追及する体質への変革を目指しました。本計画においては、当社の強みであるキーマテリアルやキーテクノロジーを徹底的に追求していくとともに、新しい分野には新しい価値判断や方法論で飛び込んでいくことによって、縮小均衡に陥ることなく規模としてもひとつ上のステージを目指します。これらを**経営活動のスローガン**として「**こだわり・変革・飛躍**」の3語にまとめました。

#### 2010年度連結目標

2010年度に**売上高3500億円、経常利益350億円、ROA（総資産経常利益率）7.5%以上**を目指します。

なお、前提条件は、為替レート（US\$ = 115円、EUR = 135円）、国産ナフサ価格（43,000円/KL）としました。

#### 事業戦略の方向性

新規事業の方向性 ... まずは**電子情報材料事業に特化し、経営資源を集中**します。

2006年4月から**電子情報材料事業部を立上げ**、電子情報材料関連製品を集約します。独自のシーズをもとに需要家との関係を深め、この分野への本格参入を果たし、現時点で50億円程度の同事業売上高を**2010年度に300億円**まで拡大することを目指します。事業部内に戦略構築スタッフを抱え、シーズ志向とマーケット志向の両面から事業を推進していきます。

また、次代の糧となる新規テーマの探索は、次の成長分野と目される**健康・医療分野**および**新エネルギー分野**などに絞り込みます。

既存事業の方向性 ... 現状維持に留まらず**成長領域（分野、海外）へ進出**します。

原料高のなか、収益性を維持するために、現在成長途上、あるいはこれから成長局面に入る分野や地域への展開を図り、垂直・水平方向でのM&Aの検討もいたします。また、そのために**各事業部の役割を強化**します。さらに、コスト競争力を強化するため、**生産技術を革新**しつつ、それぞれのプラントで**ベスト・イン・クラス**を目指します。

#### 事業戦略上の目標

##### EO事業部

脱EG化率80%以上を目標に、酸化エチレンおよびその誘導品の拡販により、市況に

左右されない事業基盤を確立します。

#### アクリル事業部

高吸水性樹脂は世界トップレベルのシェアを堅持します。アクリルモノマー事業も拡大させ、安定した利益・キャッシュフローの維持・拡大を図ります。

#### 機能性化学品事業部

アクリル酸エステル系ポリマーで存在感のある地位を占めることを目標とします。またスペシャルティ製品（エチレンイミン誘導品、オキサゾリン、ポリビニルピロリドン、等）で収益基盤の強化を図ります。

#### 精密化学品事業部

ワールドワイドでトップサプライヤーの地位を得ることを目標に、水溶性ポリマー等の海外展開並びにコスト競争力強化を図ります。

#### 環境・触媒事業部

環境・エネルギー市場への販売を拡大し、製品群の充実を図ります。また、品質性能を高め、高付加価値製品として収益性の向上を果たします。

#### 電子情報材料事業部

電子情報材料（表示材料、電池材料、半導体材料、情報伝送材料）における機能材料メーカーとして国内外で確固とした地位を築くことを目指します。特に、表示材料分野、電池材料分野に進出します。

<中期経営計画の要旨>

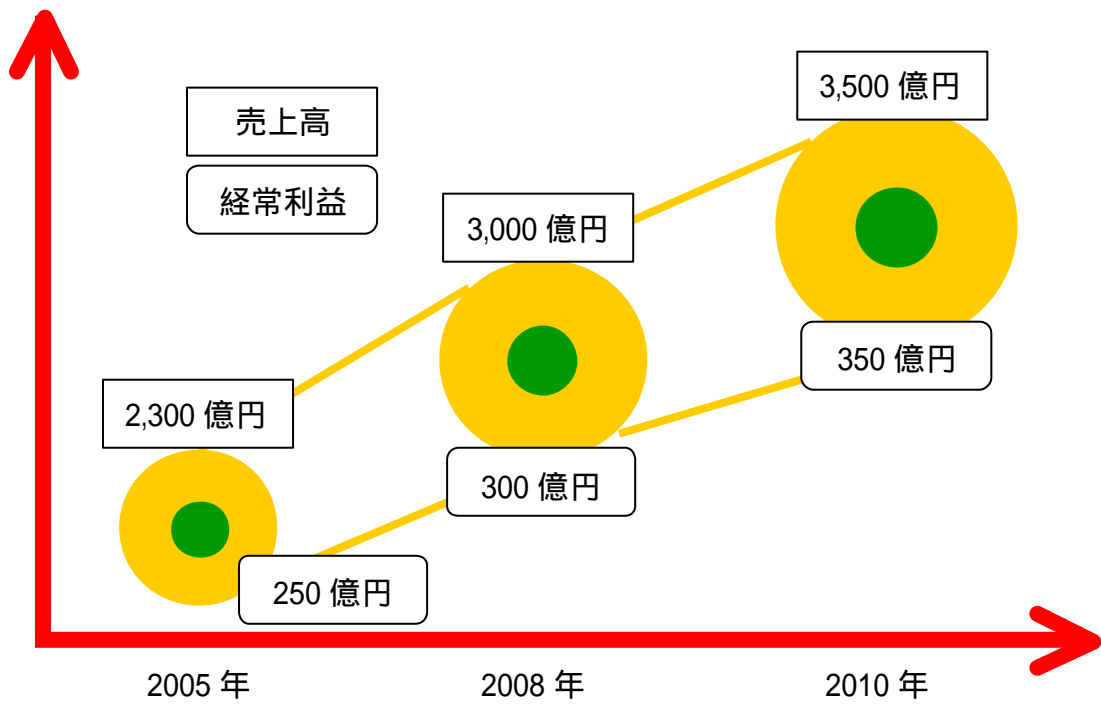
**2008年度**連結目標を、**売上高3000億円、経常利益300億円、ROA**（総資産経常利益率）**7.5%以上、新規製品売上高400億円**、とします。なお、この場合の新規製品とは2004年度以降本格上市の製品を指すものとします。

以上

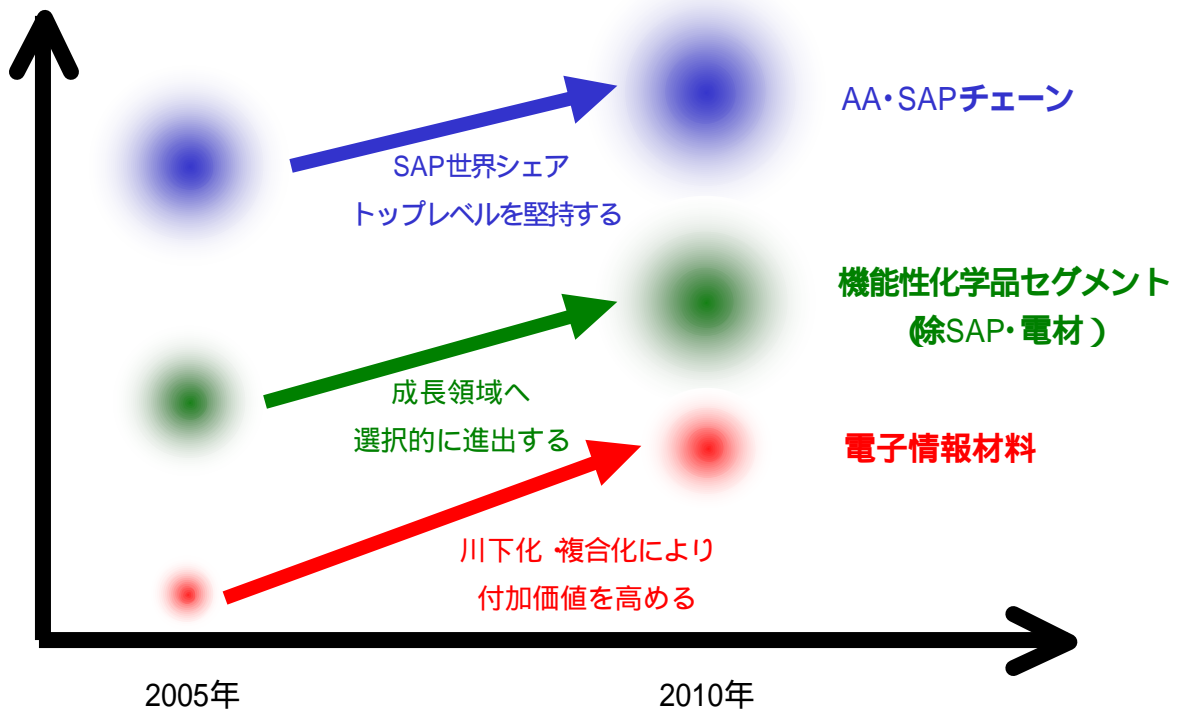
本件に関するお問い合わせ先：総務部広報グループ 03 - 3506 - 7477

< 参考図表 >

連結業績目標

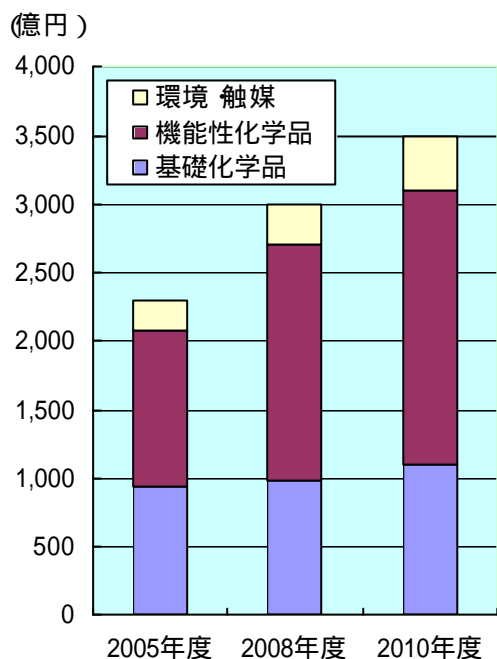


事業ポートフォリオ

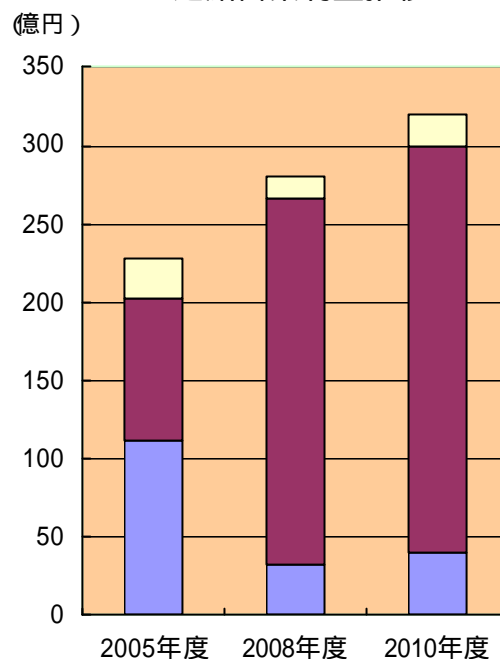


## セグメント別の業績推移

### 連結売上高推移

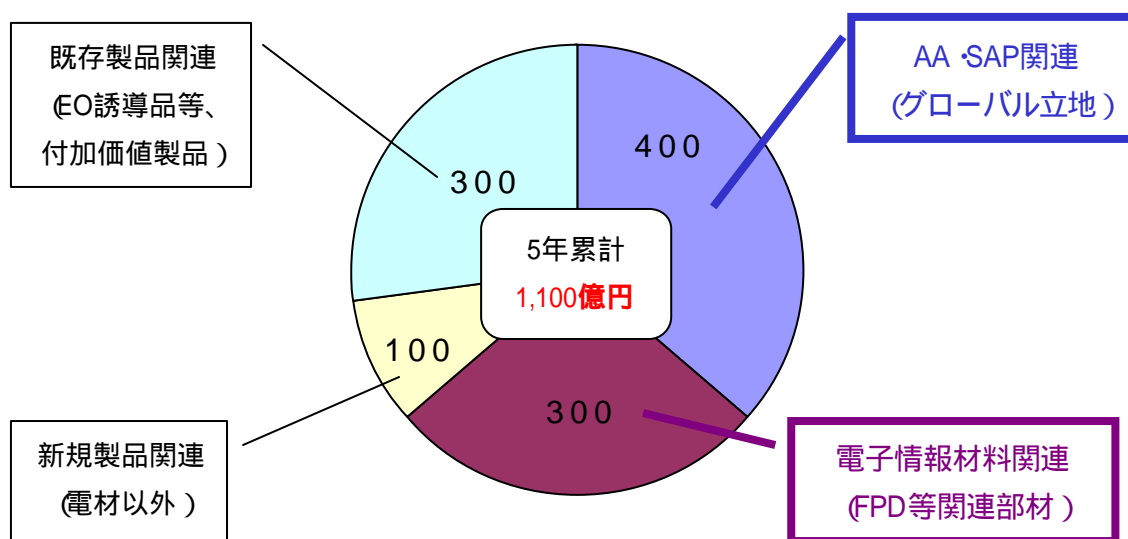


### 連結営業利益推移



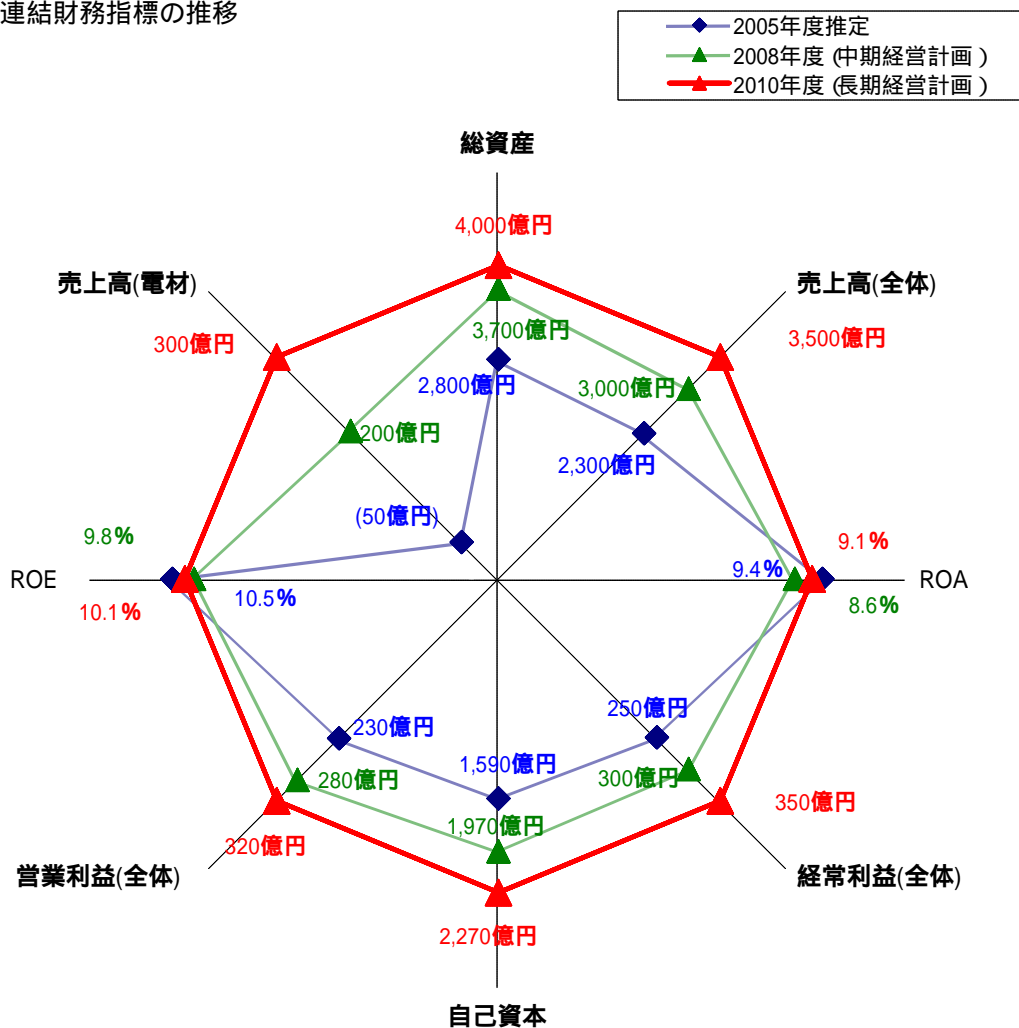
## 設備投資計画

### 2006～2010年の累計設備投資額 (億円)



あわせて、戦略投資 (M&A等) として、2010年までに200億円程度を計画

連結財務指標の推移



テクノアメニティV3 戦略概念図

